

広告

企画・制作 LEXUS NEW TAKUMI PROJECT 実行委員会



スーパーバイザー
小山 薫堂氏

1964年6月23日 熊本県天草市生まれ。日本大学芸術学部放送学科卒。「料理の鉄人」や「ニューデザインパラダイス」、映画「おくりびと」など数多くのヒット作品の企画・構成に携わる。「くまモン」の生みの親でもある。



レクサスが日本全国の「匠」のモノづくりを応援

え発展させ、それから新
しい価値を生み出そうと
しているレクサスのアラ
ンダ思想の1つである
「二律双生」を、地方創
生×モノづくりの視点で
実現するプロジェクト。
福島県選出の匠、張り子
職人・橋本彰一さんの思
いと、完成したプロダク



1月18日、プレゼンテーションにて

「LEXUS NEW T クサス」は、日本各地で新しくモノづくりプロジェクトのスーパーバイザーに、放送作家として多くのヒットを手がけ、くまモンの生みの親でもある小山薫堂氏を迎えて、隈研吾氏（建築家・東京大学教授）、グエナエル・ニコラ氏（デザイナー）、清川あきみ氏（アーティスト）、生駒芳子氏（ファッショニ・ジャーナリスト）アート・プロデューサー）、下川一哉氏（意匠研究所）らをサポートメンバーに発足。第一回となる今回は、全国47都道府県から地域推薦、一般公募合わせて52名の若き匠が選出された。

「LEXUS NEW TAKUMI PROJECT」(刊憲・レクサス)は、日本各地で地域の独自性や技術を生かし、新しさやヘアバタニ挑む「匠」を応援する。

福島が誇る張り子の可能性追う
和紙を貼り合わせた眼鏡フレーム

専門家のアドバイス
と周囲の後押し

三春町で古くから張り子による伝統的工芸品を作り続けるデコ屋敷大黒屋の橋本さんは、張り子の可能性を広げるプロダクトの製作に挑戦した。

A man in a dark suit and glasses stands behind a wooden podium, speaking into a microphone. He is gesturing with his hands as he speaks. A large projection screen behind him displays Japanese text: '・導師はアーティスト
シリスに参照しています' (The mentor refers to the artistシリス). The overall setting appears to be a formal presentation or lecture.



「deko megane」を紹介する橋本さん



橋本 彰一
福島県／張り子職人

1997年東北生活文化大学生活美術学科卒業。その後、県立高等学校で教師を務める。2003年家業を継ぎ、修行を続ける。2008年株式会社を設立。2010年「デコ屋敷本家大黒屋」21代当主となる。現在、300年の伝統をもつ張り子の技術を糧に、素材である「和紙」、技法の「張り子」の可能性にチャレンジし、日本の張り子文化の海外発信も積極的に行う。



和紙の特徴を生かし、



じむのやう。一つの製品を生み出すためではなく、張り子の可能性を広げるなどが、产地である福島を世界に発信するのに繋がる感じでいる。

弾け子の隠心高めの簡単



張り子技法の代表作・だるま



300年続く本家大黒屋

けに、民芸品や張り子の産地として受け継がれる伝統や文化、技術を世界に広く発信し、復興の後押しに繋げたいと考え